

2018年2月15日
株式会社東陽テクニカ

～ドイツ Kubrich 社と国内総代理店契約締結～
サイドドア・ボンネット・テールゲート向け
「自動車ドア開閉耐久試験システム」の販売開始

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝）は、自動車向けドア計測分野に注力し、「ドア閉まり音評価システム」に加えて、「ドア閉まり性評価システム」、「ドアシール面間計測システム」、「挟まれ反転荷重（ピンチフォース）計測システム」を取り扱っています。

今回、さらなるラインアップの拡充・事業強化を目的に、自動車ドア開閉耐久試験システムのリーディングカンパニーであるドイツ Kubrich Ingenieurgesellschaft mbH & Co. KG（本社：ドイツ・バイエルン州プリーゼンドルフ、以下 Kubrich 社）と国内総代理店契約を締結いたしました。欧米の自動車メーカーで幅広く使用されデファクトスタンダードである自動車ドア開閉耐久試験システムの 3 製品、自動車サイドドア開閉耐久試験システム「iCDDT」、自動車ボンネット・テールゲート開閉耐久試験システム「LMOT」、自動車ドアノブ操作用マイクロアクチュエータ「μACT」、を 2018 年 2 月 15 日より販売いたします。

自動車ドアの閉まり音、閉まり性、安全性に加え、耐久性を試験できるシステムをラインアップに加えることで、自動車向けドア計測市場の開拓を加速し事業の拡大を図ってまいります。



<自動車ドア開閉耐久試験システム>

近年、自動車の燃費向上のため、車体だけでなくドアについてもより軽量化が進み、自動車ドアには従来の鉄以外にアルミや樹脂などが多く採用される傾向にあります。鉄、アルミ、樹脂は素材毎に温度特性が異なるため、環境温度が変化した際にも、複数素材で作られたドアが安全性や耐久性を確保しているか確認する必要があり、今後の自動車ドア開発における重要な試験項目です。

しかし、従来の自動車ドア耐久試験システムは、“常温環境下でのみしか操作ができない”、“ドアの内側からの開閉操作ができない”などの制約があるため、複数素材で作られた新しいドアの性能保証をいかにして行うかが、自動車開発エンジニアの課題になっています。

この問題を解決するため、東陽テクニカは今回、温度変化を伴うドア開閉耐久試験ができる「自動車ドア開閉耐久試験システム」を販売します。サイドドア開閉耐久試験用の「iCDT」、ボンネット・テールゲート用の「LMOT」、ドアノブ操作のマイクロアクチュエータ「μACT」は、自動車のサイドドア、ボンネット、テールゲートに取り付けると、自動的に指定した回数の開閉耐久動作を繰り返し、自動車ドアの耐久性能を計測します。

システムの稼働温度範囲は-40℃～85℃と広く、恒温槽内での温度変化を伴うドアの耐久試験が可能で、複数素材で作られた新しいドアの性能・安全性・耐久性が一定基準に達しているかを検証することができます。また、ドアの外側からはもちろん、内側に設置したシステムからの開閉動作もできるため、実使用環境を模擬した耐久試験が可能になります。さらに、耐久試験実施中のドアの特性（速度(m/s)、力(N)、エネルギー(J)）も計測し“ドアの状態”を監視することができるため、自動車ドアの耐久試験をより効率的に実施することが可能です。

グラフの作成、レポート出力、データのエクスポートなどデータの収集・解析も簡単・迅速に行え、測定値のリアルタイム解析ができます。

【主な特長】

- 温度範囲 -40℃～85℃
- ドアの外側、内側から開閉試験実施
- ドア速度、力、エネルギーを計測
- 耐久試験中のデータ管理



<自動車サイドドア開閉耐久試験システム「iCDT」>



<「iCDT」を使った車室内からのドア開閉の様子>

【製品データ】

- 製品名：自動車ドア開閉耐久試験システム
 - 「iCDT」：自動車サイドドア開閉耐久試験システム
 - 「LMOT」：自動車ボンネット・テールゲート開閉耐久試験システム
 - 「μACT」：自動車ドアノブ操作マイクロアクチュエータ
- 販売開始：2018年2月15日

<Kubrich Ingenieurgesellschaft mbH & Co. KG について>

Kubrich 社は、2001 年にドイツ・ブリーゼンドルフに設立されました。Kubrich 社のドア開閉耐久試験システムは、既に欧米の主要な自動車メーカー、自動車用部品メーカーに数多く採用され、ドア開閉耐久試験システムにおけるデファクトスタンダードです。

Kubrich 社 Web サイト : <https://www.kuebrich.com/>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC（電磁波障害）試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、メディカルなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。

また、2016～2017 年にかけて新しい 3 組織「セキュリティ&ラボカンパニー」「技術研究所」「ワン・テクノロジー・カンパニー」を設立。サイバーセキュリティサービスの提供、自動運転車の開発支援、AI（人工知能）を使ったデータ解析など、新しいソリューションの創造に取り組んでいます。

東陽テクニカは「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、これからも産業界の発展と安全で環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 機械制御計測部

TEL : 03-3245-1242 (直通) E-mail : ele2@toyo.co.jp

「自動車ドア開閉耐久試験システム」紹介ページ : www.toyo.co.jp/kubrich/products_list

「自動車計測ソリューションサイト」 : <http://www.toyo.co.jp/solution/car/>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。